



profile

増井 ゆかり

Masui

佐智市出身。

佐賀北高芸術コースを卒業後、

広島大学教育学部に入学。

第47回全日本学生音楽コンクール高校生の部、第1位。

2001年福岡室内合奏団と共演。

同年ドイツにて招待演奏会に出演。

2015年佐賀県芸術文化奨励賞受賞。

2016年佐賀交響楽団、2019年アルモニア管弦楽団とピアノ協奏曲 を共演。

2018年、2022年「演奏家がやってくる!」で佐世保市内の小学校で オーボ工奏者とアウトリーチ活動中。

現在、愛の泉こどもの園の音楽講師、佐賀北高校芸術科非常勤講 師を務める。

program



ショパン 作曲 ノクターン第2番 ノクターン第20番(遺作)

バラード第1番

ヘンデル 作曲

調子のいい鍛冶屋

リスト作曲 ラ・カンパネラ

ほか





PIRYES.

イグナーツ・プレイエル(Ignace Joseph Plevel 1757—1831)により、 1807年パリに創設されたプレイエル社が製造するピアノ。 プレイエルには、打弦音をできるだけおさえる設計がほどこされ ているため、余計な雑音を消し、木のあたたかい響きをふんだん に出すことにより、香りたつような音色を醸し出します。 1832年に、プレイエルの音楽堂でパリにおける最初の演奏会を 開いたピアノの詩人ショパンは、それ以後この楽器を愛し、生涯 使い続けたといわれています。

プレイエルの伝統はデリケートな音色や楽なタッチに生かされ、 フランスにおけるもっとも優れたピアノのひとつとされています。



徴古館のピアノ プレイエル は、朝香宮鳩彦王第一王女 紀久子様が昭和6年(1931)、鍋島直泰様(13代)に降嫁 される際に婚礼調度としてフランスで誂えられたもの。 婚礼調度目録によると、「マークヲ撰バズ、音ノ良キモノ」 と記されています。

フランスからもたらされたプレイエルのやわらかな音色 は、渋谷・神山にあった鍋島邸の居間で、また大磯の別荘 で御一家に癒しのひと時を与えたことでしょう。

1年半に及ぶ修復の完成を記念して2001年から開催して いるプレイエル小音楽会も、今回で25回目を迎えます。

※新型コロナウィルス感染症対策のため、予定が変更となる場合があります。

| ミニ展示 |

プレイエル小音楽会にご参加の方のみご覧いただけます

第27回「プレイエル小音楽会」に合わせて、当財団所蔵の洋画を 数点展示いたします。百武兼行ら佐賀出身者の作品や、普段の 企画展ではあまり出品しない作品をご覧いただけます。 プレイエルの素敵な音色とあわせて、ぜひご鑑賞ください。



城のある風景 百武兼行作 (公益財団法人鍋島報效会所蔵)





| 交通アクセス |

- 長崎自動車道 佐賀大和I.C.から、市街方面へ 車で約20分。松原公園駐車場(徴古館前)等 近隣の駐車場をご利用ください。
- 佐賀駅バスセンターから、市営・昭和・祐徳の 各バスで「県庁前」または「佐嘉神社」下車
- JR佐賀駅から、県庁方面へ徒歩約20分

お問い合わせ

- ☑ info@nabeshima.or.jp
- https://www.nabeshima.or.jp
- ◆ 0952-23-4200 (公益財団法人編島報效会)

